

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床病理学Ⅵ	3年次 前期	必修	講義	1単位（15時間）	福田 修 ※
授 業 概 要					
<p>外科的治療の原則と特色について、手術侵襲と生体の反応を中心に学ぶ。周手術期の基本的処置の要点、麻酔を中心とした知識を深め、状態把握、管理に関することを理解する。</p> <p>全系統の疾患、状態に関連するため、これまでの諸知識を動員して学ぶ。</p> <p>この内容は、健康障害がある対象への看護実践の上でも、疾病予防や健康増進の上でも、大変重要な基礎となる学問である。</p>					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外科的治療の原則と特色、手術侵襲と生体の反応について説明する。</li> <li>2. 外科的治療に伴う重篤な合併症について説明する。</li> <li>3. 麻酔の種類と術前・術中・術後の管理について説明する。</li> <li>4. 手術体位とその影響について説明する。</li> <li>5. 脳死と臓器移植の基礎知識を説明する。</li> </ol>					
回	学 習 内 容				担当教員
1-7	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外科的治療の基礎 手術侵襲と生体の反応 ショック</li> <li>2. 麻酔法 麻酔の種類と術前・術中・術後の管理</li> <li>3. 手術体位とその影響</li> <li>4. 脳死と臓器移植</li> <li>5. まとめ</li> </ol>				福田 修 ※
学 習 方 法					
<p>講義中心に進める。各疾患を学ぶ事前学習として解剖学・生理学・病理学等の復習を行っておくこと。また、各学習内容の予習を行い、主体的に講義に臨むこと。</p>					
評 価 方 法					
<p>[評価方法] 科目修了試験</p>					
先 修 科 目					
なし					
教 科 書、参 考 書					
<p>[教科書] 新体系看護学全書 経過別成人看護学② 周手術期看護 明石恵子 編 メヂカルフレンド社</p>					